

8月に入り、また暑い日が続いております。夏休みといえども、子どもの加力指導や特練、研修や指導案検討などがあり、何かと忙しい毎日を過ごされているのではと思います。9日からの閉校日には少しはゆっくりして充電したいですね。

遅くなりましたが、2学期最後の見て見ての授業についてまとめましたので、時間のある時にご覧ください。



見て見ての授業より

7月13日(金) 4校時 音楽科 6年 松本 真里 教諭

教材名「ロック マイ ソウル」

本時の目標：声の重なる響きや旋律の組み合わせの楽しさを感じ取って表現する。

今回、音楽の授業を見せていただくにあたって、音楽編の新CSを開いてみました。従前は「意欲、態度、習慣」「基礎的な表現の能力」「基礎的な鑑賞の能力」となっていた音楽科で育成を目指す資質・能力の構造が、他の教科と同様に「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力」「学びに向かう力、人間性」といった資質・能力の三本柱で整理されています。そして、内容は大きくA表現とB鑑賞とAとBの共通事項に分かれていて、そのA表現はさらに(1)歌唱(2)器楽(3)音楽づくりと分かれ、それら1つ1つが「思考力・判断力・表現力」「知識」「技能」の3つで整理されています。音楽科のA表現では「知識」と「技能」が分かれていて、「知識及び技能」とひとくくりになっている国語科や算数科とは違ってきます。P162~の系統表を参照していただくとより分かりやすいと思います。これを機会にまだ使っていない方はぜひ開いてみてください。

授業の概要：

「今日の学習のめあては、『変化を付けて声の響き合いを楽しむにはどうしたらいいのだろう』ですが、どんな変化をつけたいか？」と問いかけた後、リズムの音だけを楽器で演奏し、子どもたちに「速さ」の変化に気付かせ、「この曲は、速度記号がかかれていません。(ほどよいはやさで)とかいてあります。速さに意識して、クラスのほどよいはやさを決めていきましょう。」と意識付けをして、歌に入っていました。何回か違う速さで歌った後、「どうする？」と問いかけ。140の速さに決定しました。そして、「変化が付けられるのは速さだけかな？」と新たな課題を提示し、音の強弱の方に向かって授業が進んでいきました。クラスの「ロック マイ ソウル」が完成です。

そして、ABCそれぞれのグループで、グループだけの強弱の変化や歌う人数を変えて響きの変化を加える等、さらなる工夫を考えさせて「振り返り」となりました。

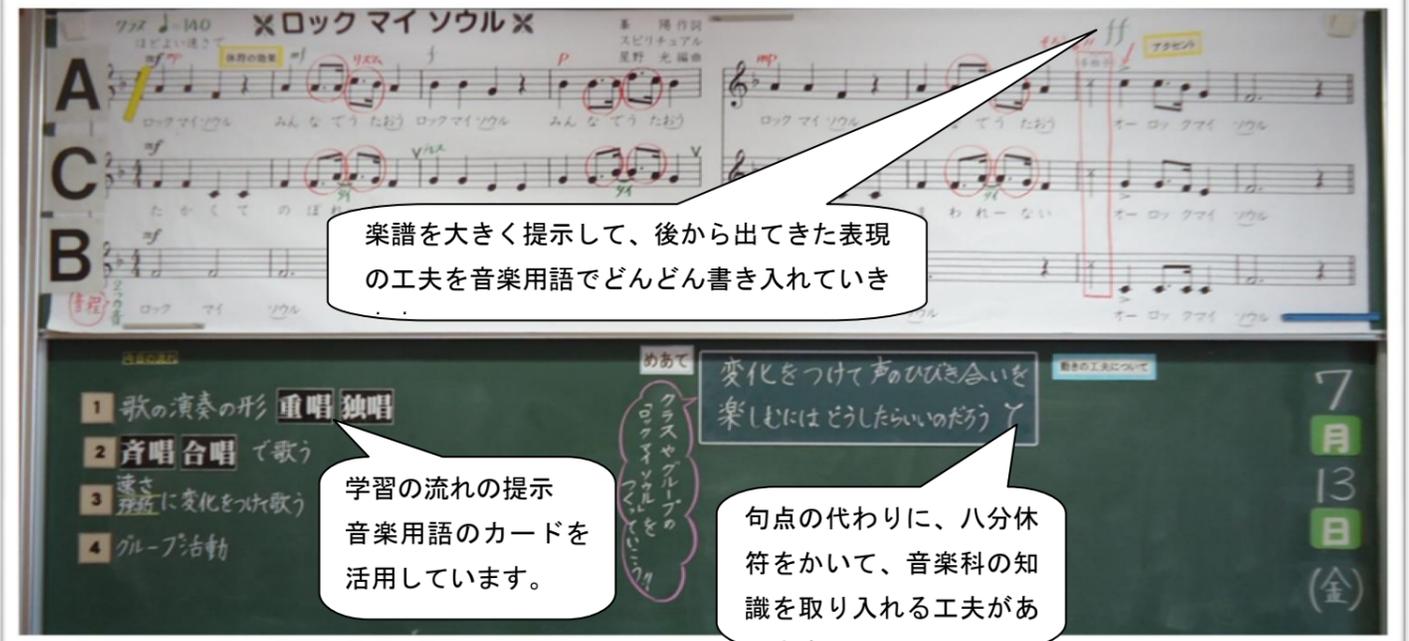
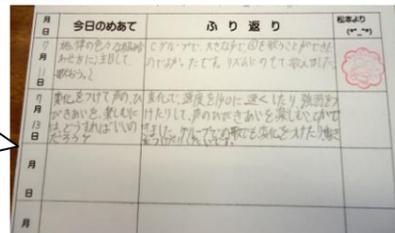


ピアノの周りに集まって歌っている様子



グループでの話し合いの様子

めあてと振り返りをカードに書いています



楽譜を大きく提示して、後から出てきた表現の工夫を音楽用語でどんどん書き入れていき

学習の流れの提示
音楽用語のカードを活用しています。

句点の代わりに、八分休符をかいて、音楽科の知識を取り入れる工夫があ

授業者より

音楽的な要素を教え込むのではなく、実体験を通して学ばせていきたいと思ってやっている。この題材は4時間扱いで、今日はその2時間目。後2時間でグループで作って発表したい。子どもたちは、音楽が好きという土台があり、いろいろなことが仕組みやすい。今日の授業ではやりたいことが多すぎた。もっとグループ活動・学び合いができればよかった。

事後研より

- ・新CSの目標を見ると、A表現の(1)歌唱「歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつこと」ウ(ウ)「各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能」と書かれていて、まさにこの身に付けさせたい資質・能力にぴったりの授業だった。
- ・広い教室で40人近い子どもたちを飽きさせずに目標を達成させるのは大変だと思うが、子どもたち一人一人が自分を発揮している姿が見られた。
- ・新CSのP10に書かれてある、「音楽的な見方・考え方」を働かせた、とても新CSを意識された授業であった。楽しいだけでなく、新CSの中の大切な要素が組みこまれている授業で、見方・考え方をポイントに置いて、主対深での学びが実現されていた。
- ・教師の指示が明確でわかりやすく、児童もすぐに動ける集団である。
- ・今までの既習を入れながら、子どもたち課題を見つけさせ、主体的に学べる仕掛けがあった。音楽記号の意味も考えながらやっていて、音楽の知識も身に付いている。

学級担任の大野先生は、学級の子どもたちが活躍している場面を見て、「音楽が終わって帰ってく時、子どもたちがいつも生き生きとして帰ってくる。」とおっしゃっていました。今日、授業を見せていただいてどの子にも満足感の与えられる授業をいつもされているのが分かりました。松本先生のような声や音楽の技術は誰にでもあるものではありませんが、真似したいことや取り入れたいことがたくさんありました。今回、音楽の授業を見せていただき、事後研での話し合いに参加したのは初めてでしたので、私自身もとても勉強になりました。学期末の慌ただしい時に、6年生のステキな歌声で癒していただきました。ありがとうございました。合唱部の活動にも熱心に取り組まれている松本先生、本校の音楽の力をどんどん高めてくださっています。

夏休み中の今後の校内研は20日と29日の2回です。どちらも1日です。よろしくお願いします。